除雪計画地域別懇談会

各会場とも同じ悩みが

市では、五十二年度の除雪計画をたてるにあたり、市報で除雪に対するみなさんの要望・提言を募集したり、自治会長さんと除雪についての懇談会を開いたりしました。

各地区事務所など地域別の懇談会は十四回開かれ、昨年度の大雪で泣かされた体験、苦情、市と市民の役割りなど活発な意見が出されました。

四メートル未満道路 除雪は不可能

家の前に寄せられた雪は皆さんで除雪を

この除雪計画地域別懇談会は、八月十七日、西地区事務所を皮切りに、九月五日までの間に十四か所で開かれたもので、地域の要望・提言などを出してもらいあたり、地域の要望などをつくるためです。

今年度の除雪計画の素案を

第一回目の懇談会の席上中川市道路課長は「五十二年度の除雪計画をたてるに

あたり、地域の要望などを

今年度の除雪計画の素案を

できるだけ取り入れていきたい」。「しかし、心ずしも全部満たすわけにもいかない」―とあいさつ。

そして、市の冬期気象や除雪機械の現状を説明し、出席者から要望・意見を求めました。

どこの会場でも、また市報で募集した提言でも、同じ内容の要望・意見が出されました。

①市道延長が千六百五十㍍あるうち三分の一の五百十㍍しか除雪しないのか②生活道路なので除雪を③自費で除雪する場合に市で補助金を④計画路線の延長を⑤除雪車が通ったら出入口がふさがれた⑥通学道路・歩道の除雪を――など各地区から出されました。

五百十㍍を機械除雪

計画路線の延長やなぜ市道の三分の一しか除雪できないか―については、計画路線を延ばしたいが除雪は機械除雪が主体であり、機械確保の見込台数とそれを操作する人員、道路の幅員などから除雪が可能な延長が五百十一㍍と算定されたものです。

また、生活道路は除雪するものの、四㍍未満の道路では除雪機械は入れません、したがって町内のみなさんにご協力を願うことになります。除雪の補助金制度については、検討していくため現在各町内の実態を把握するため調査中です。

通学路はせまい所が多いため実際に除雪できない町があります。歩道除雪は、現在、適切な機種はなく、開発中であり、交差点や歩道橋など特種な場所以外は計画しないものとしています、小型のものがあってもロータリー式のため吹きとばすことができません。

家の前は自分で除雪

ある町内から「自分の家の前は自分で除雪し、歩道はよい。何でも市役所ではだめだ。市民と市の役割りを明確にするためにも、除雪の協力で事故が起きた場合、市も早く補償制度を考えるべきだ」―との意見もありました。

機械除雪には作業限界もありますが、行政の責任や市民の役割りもあり、みなさんと一体になって除雪に対処する必要があります。除雪計画を十一月に公表するため、現在、あらゆる意見・要望を整理し、作業を進めています。

お金のかかる下水道にびっくり

処理区住民施設を見学

去る九月十日の下水道促進デーに、市では、いろいろな行事を行いました。

全国的にも下水道の普及が非常に立ち遅れており、本市でも総人口に対する処理人口普及率は十六%と全国平均の二十四%を下回っています。

そこで下水道に対する市民の理解と関心を深め、さらに下水道の普及とその十分な活用を促進しようと各種行事が行われたものです。

ポスター、パンフレットを市内の小・中学校、高校市の施設などに配布、街頭相談所を開設したり街頭P・Rも実施しました。

本庁舎正面と東地区事務所前で開かれた街頭相談には、「側溝が沈下し、下水が流れない」「浄化槽の排水のにおいが強くて困るがどうしたらよいか」「雨水マスを設けてほしい」―などたくさんの相談、要望などがありました。

映写と座談会も

また九月十四日には、増設工事の終わった、通水を待つばかりの船見下水処理場の見学、座談会も実施。

船見処理区の住民約五十人が集まり、下水道の役割りや、処理してきれいな水になるまでのマスを通過を説明してもらいながら、施設を見学しました。

その後、「春らしと下水道」の映画を見て座談会に入りました。

参加者の皆さんは、職員に熱心に質問したり、下水道を普及させるためには膨大なお金がかかることにびっくりしていました。

最終沈澱池を見学するみなさん

統計調査員を募集します

市では、統計調査員を募集しています。

仕事の内容は、調査の対象者に調査票を配布し、後日、回収整理し、提出していただくものです。年齢は十八歳以上ですが、性別・資格、特に勤務時間（調査期間中に都合のよい日時を選んでできます）等の制限はありません。統計調査に熱意をもって調査期間中、実際に従事できる方（特に家庭の主婦、退職者など）なら、どなたでも結構です。

ふるってご応募ください。

パンフレットを参照し、不明の点がありましたら、企画調整課統計調査係（☎28―一〇〇〇番、内線二三二・二三三・二四三番）へ。

応募方法 募集のパンフレットおよび申請書が、企画調整課統計調査係（本庁舎二階）、各地区事務所および連絡所に用意してあります。申請書の提出は、本人が直接、企画調整課統計調査係へ、ご持参ください。

応募期間 応募の重点期間は、十月一日から十月二十日までとし、その後も、追加募集する必要がある場合、引き続き、応募者の申請を受け付けます。

※なお、詳しいことは、住所、氏名、電話番号を明記し、園芸センター講習係（石山一五五九―二）へ。

装いに合わせた生花のおしゃれ教室

日時 十月五日午前十時～正午

会場 市園芸センター研修室

受講料 五百円（材料費、当日持参）

定員 五十人（希望者多数の時は抽選）

申し込み 九月二十七日（消印有効）までに、はがきに住所、氏名、電話番号を明記し、園芸センター講習係（☎66―5171）へ

サークルおむすび会

私たち、おむすび会はギターとフォークダンスの二つのグループにわかれています。

ギターグループは毎週木曜日、ギター片手に楽で歌っています。

また、ギターを弾けない人には、弾けるよう指導もしています。

曲目はフォークが主流ですが、ときには歌謡曲もやります。とてもなごやかなふん囲気に包まれています。

次にフォークダンスグループですが、こちらも毎週木曜日に集まっています。フォークダンスのほか、社交、ディスコ、民謡、ツイストなどを季節や流行にあわせておどります。

おむすび会全体としては、一年間の行事計画を決めています。たとえば、夏にはキャンプ、冬にはスキーという具合に毎月の行事があります。

おむすび会に入って初めて体験するようなドキリ行事もあります。

サークルで大事なみんなの団結と和がこのサークルにはあります。みんなで力をあわせてこの人生を歩んでいます。仕事だけが人生じゃないという事をこのサークルが教えてくれます。平均年齢二十一歳ですが、しっかりしている人たちばかりです。

現在、会員数三十四人。仕事の都合で二十人くらいしか集まれませんが、楽しくにぎやかです。あなたも時間があったら遊びにきてください。

毎週木曜日、夜七時から駅前の青年の家でやっています。

会費は月二百円。

連絡先は青木孝子（狼ケ馬場二三八☎七六―三四四三）

昨年行った合宿（出湯温泉で）

育児学級

日時 9月28日午後1時半

会場 公民館木戸分館（旧木戸会館）

対象 木戸、牡丹山校区在住で52年6・7月生まれの第1子をおもちのお母さん

持参品 母子健康手帳

ママへの準備教室

日時 10月14か28日午後1時半～3時半

会場 東保健所4階第1会議室

対象 一応初産婦、妊婦7か月頃

内容 赤ちゃんの衣類の選び方、オムツの作り方、沐浴の方法など

持参品 母子手帳、エプロン、タオル

申し込み 電話（☎41―4111）で、東保健所へ（先着20人）

安産教室

内容 安産体操の知識と実習、映画、出産に関する質疑応答など。

対象 妊娠6～7か月の妊婦

持参品 母子手帳、筆記用具、体操のできる服装

日時 10月12日午前9時半～11時半、2回目は来所時に本人に通知

会場 東保健所4階講堂

申し込み 電話（41―4111）番で東保健所母子保健係まで（先着40人）

血圧の高い人の生活と食事講習会

月・日	時間	会場
9・27	午後1時半～4時	大学南ケ丘公民館
9・29	午後1時～3時半	東保健所栄養室
9・30	午後1時～3時半	両川連絡所

風しん抗体価検査

対象 高校生以上の女子（妊婦を除く）

期日 東保健所 10月4日
西保健所 10月18日

時間 午前9時～10時

会場 東・西保健所外来

料金 640円

申し込み 電話で、東保健所母子保健係（☎41―4111）西保健所母子保健係（☎66―5171）へ

献血車「ゆうあい号」

どうぞ、ご協力を！

月・日	時間	会場
9・26	午前9時半～午後3時半	山の下市場通り
9・27	午前9時半～午後3時半	新潟鉄工所大形工場
9・30	午前9時半～正午	北陸ガス御本社（東大通1）
	午後1時半～4時	〃 新潟営業所（附船町1）
10・1	午前10時～午後4時	ダイエー新潟店前

元気で長生き食事講習会

月・日	時間	会場
9・27	午前10時～正午	西保健所
10・3		坂井輪公民館
10・5		中央公民館

内容 成人病の予防と食事、ふとらない食事の工夫（調理実習も）